

Forbes 誌が選ぶ「中東で最もパワフルな女性」ナディア・ワーセフさん**特別来日!**

『SHELF LIFE (シェルフ・ライフ)』 出版記念トークイベント

THE POWER OF BOOKS

—— 女性がつくる書店と出版社 ——

エジプト、モロッコ、日本で、女性たちがつくった書店や出版社が話題になっています。本イベントでは、つくり手となった3人をお迎えし、創業や経営にまつわる経験や、「本を通して世界を変える」という共通の思いについてお話しいただきます。電子化が進み、さまざまなメディアを通して情報があふれる今、本の持つ力～THE POWER OF BOOKSとは一体何なのでしょう。そして**フェミニズムの可能性**とは? ご参加の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

登壇者 ※逐次通訳がきます。



© Andrew Mason

ナディア・ワーセフ

(エジプトの書店「ディーワーン」創業者)

2002年に共同設立されたエジプト初のモダンな書店「Diwan (ディーワーン)」の創業者。ロンドン大学パークベック校、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院、カイロ・アメリカ大学で修士号を取得。ディーワーンを設立する前は、「女性器切除対策プロジェクトチーム」や「女性と記憶フォーラム」で調査やアドボカシー活動に従事していた。2014～2016年にフォーブス誌の「中東で最もパワフルな女性200人」に選ばれたほか、『タイム』誌などでも取り上げられている。2022年のウーマン・オブ・ザ・イヤー賞 (UNICEF & Co. Look! Magazine) の "Woman for Women" 部門を受賞。



ヤスミナ・ナジ

(モロッコの出版社「クルテ」&アートセンター設立者)

モロッコ・フランス人。1980年、モロッコのラバト生まれ。ソルボンヌ大学 (旧パリ第4大学) の政治哲学科を卒業 (道徳および政治哲学の修士号と編集顧問の修士号)。2013年、モロッコにて出版社「クルテ (Kulte)」を設立。フェミニズム、性的少数者問題、人種問題などマイノリティを扱った書籍をアラビア語、フランス語、英語などで出版している。書店やアートセンター「Kulte Center for Contemporary Art & Editions」も同時に運営しており、Kulteは現在、北アフリカで最も意欲的な出版社およびアートセンターの1つとして認識されている。



© Samson Yee

松尾亜紀子

(フェミニズムの本を届ける出版社「エトセトラブックス」創業者)

エトセトラブックス代表・編集者。1977年生まれ。出版社で編集者として15年勤めたのち、2018年に独立してエトセトラブックスをスタート。刊行物に、フェミマガジン「エトセトラ」、『痴漢とはなにか』(牧野雅子著)、『フェミニズムはみんなのもの』(ベル・フックス、堀田碧訳)などがある。2021年、同名のフェミニスト書店をオープン。2019年に始まり全国に広がった、性暴力に抗議する「フラワーデモ」を呼びかけた一人でもある。



※カバーのデザインは変更する場合があります。

SHELF LIFE
シェルフ・ライフ

カイロで革新的な書店を
愛し育て、苦悩した記録

ナディア・ワーセフ 著
後藤絵美 訳

発行: G.B. (ジー・ビー)

※7月全国の書店にて発売予定

コーディネーター 後藤絵美 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所) 鳥山純子 (立命館大学国際関係学部)

7/2 (日)
14:00 ~ 16:00

日時 7月2日 (日) 13:45開場、14:00~16:00

会場 Book Lounge Kable [カブル]

東京都中央区日本橋兜町7番1号
KABUTO ONE [カブトワン] 3F

アクセス 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結【出口11】

共催 科研費基盤研究 (A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究 (代表: 長沢栄治・東京外国語大学) 株式会社G.B.

入場無料

フリードリンク
つき

参加申込はこちら
(先着順)

